

学部

(科目等履修生)

令和6年度(2024年度)

沖縄県立芸術大学 音楽学部

科目等履修生出願要項

音楽学部



# 令和6年度(2024年度) 沖縄県立芸術大学音楽学部 科目等履修生出願要項

沖縄県立芸術大学学則第62条の規定により、本学において、科目等履修生として一又は複数の授業科目の履修を希望する者は、次により出願すること。

**第62条** 学長は、本学の学生以外の者で、本学において一又は複数の授業科目を履修することを願ひ出る者がある場合は、教育研究に支障がないときに限り、当該学部の教授会の議を経て、科目等履修生として入学を許可することができる。

(前期：令和6年 4月入学)

(後期：令和6年 10月入学)

- 1 履修期間**
- |           |                      |
|-----------|----------------------|
| 1 学期 (前期) | 令和6年 4月1日～令和6年9月30日  |
| 2 学期 (後期) | 令和6年 10月1日～令和7年3月31日 |
| 1 学年      | 令和6年 4月1日～令和7年3月31日  |

## 2 出願資格

- (1) 高等学校を卒業した者又は本学においてこれと同等以上の学力があると認められた者。
- (2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又は本学においてこれと同等以上の学力があると認められた者。
- (3) 修学に必要な日本語を理解できる者。(日本語能力試験N2以上)

## 3 出願上の注意

本学の科目等履修生制度は、学部学生が授業科目の登録を行い、なお余力がある場合に限り認められる制度である。したがって、登録人員に制限があり受講できない科目もある。また、受講人員が著しく少ない科目については、開講されない場合がある。

- (1) 提出書類が不備又は記載もれの場合は、受理しない。
- (2) 入学志願票等の記載事項に虚偽の記入がある場合には、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- (3) いったん納入した入学考査料は還付しない。
- (4) 「博物館実習」については、原則として本学の卒業生または修了生に履修を限る。  
また、すでに令和5年10月に行われた「博物館実習ガイダンス」に出席し、博物館実習申込書を提出していなければならない。
- (5) 「教育実習(長期)」、「教育実習(短期)」については、本学の卒業生および修了生で、教育実習の履修条件を備えた者に限る。ただし、出願する前に、教職課程の教員に相談すること。
- (6) 障がい等を有する等の入学志願者については、修学上特別な配慮を必要とする場合があるので、出願の前に、あらかじめ本学に申し出ること。
- (7) 在留資格を有しない外国人は、出願できない。ビザ取得及び在留期間更新の手続は行わない。ただし、沖縄県外国移住者子弟等留学生についてはこの限りでない。

## 4 出願期間

- 前期 (令和6年 4月入学) : 令和6年2月1日(木)～2月15日(木)までの郵便局消印のあるもの  
後期 (令和6年 10月入学) : 令和6年8月8日(木)～8月23日(金)までの郵便局消印のあるもの

## 5 出願方法及び提出書類

本出願はオンライン出願で行う。大学ウェブサイトからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。

オンライン出願の際は、入学審査料支払後に入学志願票が入手可能となる。

### 入学審査料について

ア 9,800円(納入方法はオンライン出願ページの指示に従い、以下の期日までに納付すること。クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー (Pay-easy)による納付が可能)

前期(令和6年4月入学)：令和6年2月15日(木)まで

後期(令和6年10月入学)：令和6年8月23日(金)まで

イ クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー (Pay-easy)の場合は、別途手数料がかかるため留意すること。

ウ いったん納入した入学審査料は原則返還しない。

オンライン出願に際しては、入学志願票を含む下記書類を郵送(書留郵便で速達)もしくは持参による提出する必要がある、その提出までが出願手続となるので留意すること。書類の提出は出願期間内必着とする。

\*出願手続きについては「オンライン出願ページ」の注意事項を参照のこと。

オンライン出願ページ(URL：<https://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>)

\*封筒の表に『音楽学部科目等履修生入学願書在中』と朱書すること。

### ■提出書類一覧

①	入学志願票	ア 入学審査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページのURLが送付されるため、マイページから科目等履修生入学志願票をカラー印刷し提出すること。氏名は戸籍に記入されている文字を楷書で正しく入力すること。現住所は願書記入時の住所でよい。(以下の書類も同様に) イ 入学志願票には上半身、無帽、正面、出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロードすること。不鮮明、背景が暗い、無背景でない、加工を施している、本人確認が困難等の写真は使用できない。 ※本学所定様式に必要事項を入力すること。
②	履修希望科目表	・本学所定様式に必要事項を記入すること。
③	卒業証明書又は卒業見込み証明書	・出身大学長が証明したもの(原本)を提出すること。 ※日本語以外の証明書の場合は、日本語訳も提出すること。(出願者が訳し、署名したものでも可とする) ※本学の卒業者又は本学の卒業見込者は提出不要。
④	成績証明書	・出身大学長が証明したもの(原本)を提出すること。 ※日本語以外の証明書の場合は、日本語訳も提出すること。(出願者が訳し、署名したものでも可とする) ※本学の卒業者又は本学の卒業見込者は提出不要。 ※「博物館実習」を希望する者は、関連科目の履修状況がわかる証明書をすべて提出すること。
⑤	日本語能力を証明できる書類および旅券の写し等(外国人のみ)	・外国人は、日本語能力試験(N2以上)や日本留学試験(日本語)などの公的機関又は日本語を学習した機関による成績に関する証明書及び在留カード(もしくは外国人登録証明書)両面の写し又は旅券の写しを提出すること。 (*提出書類が外国語の場合は、必ず日本語の訳文を添えること。)

⑥	その他の書類	<p>・入学志願者か配偶者、又は一親等親族が入学の日（前期4月1日又は、後期10月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者（県内居住者という）は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。</p> <p>なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。また、配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、入学志願者との親族関係が確認できる戸籍謄本も提出すること。</p>
---	--------	--

## 6 提出先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地  
 沖縄県立芸術大学 教務学生課（音楽学部）  
 TEL（098）882-5058

## 7 履修科目

別添の「履修科目一覧」を参考にして、履修希望科目表に受講希望科目を記入すること。  
 ただし、カリキュラムの変更に伴い、開設科目に変更が生じる場合もある。

## 8 合格者の発表

提出書類等により合格者を決定し、本人あて通知する。（前期：3月中旬 後期：9月中旬）  
 電話等による合否の照会には応じない。

## 9 入学手続等

(1) 手続期間 **前期：令和6年3月15日(金)～3月22日(金)まで**  
**後期：令和6年9月17日(火)～9月24日(火)まで**

(2) 納付金の納入  
 入 学 料 県内居住者 28,200円、その他の者 51,200円

納入期間 **前期：令和6年3月15日(金)～3月22日(金)まで**  
**後期：令和6年9月17日(火)～9月24日(火)まで**

(3) 授業科目の登録  
 履修登録については、出願書類に提出された履修希望科目に基づき、受講が認められた科目を教務学生課において登録する。

履修登録期間 前期：令和6年4月上旬頃 後期：令和6年9月下旬頃

聴 講 料 1単位 14,800円

納入期間 **前期：令和6年 4月1日～ 4月30日まで**  
**後期：令和6年10月1日～ 10月31日まで**

（納入期限が土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること）

聴講料は、授業登録後に本学が通知する額を納入する。

※在学中に聴講料が改定された場合は、改定後の聴講料が適用される。

(4) 手続場所

沖縄県立芸術大学 教務学生課 TEL（098）882-5058

## 10 留意事項

- (1) 前期および後期の所定の入学手続きを完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものと取り扱う。
- (2) いったん納入した入学料、聴講料は原則還付しない。
- (3) 履修により取得した単位は、大学の卒業要件としての単位にはならない。
- (4) 実技及び実習等に要する経費は別に負担することもある。
- (5) 後期の科目についても、前期の出願期間に出願できる。
- (6) 1 箇学期に出願できる単位数は、原則として 22 単位までとする。
- (7) 入学時に職務を持つものは、所属長の承諾書を提出しなければならない。
- (8) 当該年度の開講の有無（隔年開講の科目もあるので注意を要する。）及び開講学期等については、当該年度の『開設授業科目表』を参照すること。

## 11 その他

### (1) 遠隔授業について

新型コロナウイルス感染症等の状況により、大学内における感染リスクを低減するため、遠隔で行う授業（以下「遠隔授業」という。）を実施する可能性がある。

詳細については、本学ウェブサイトまたは教務学生課まで問い合わせること。

- (2) 入学後の授業等で使用するため、入学までにパソコン（またはタブレット等）及びインターネットに接続できる通信環境を整えておくことが望ましい。推奨される仕様については入学手続き以降に周知する。
- (3) 本学の科目等履修生が履修期間の更新及び新たな履修科目の追加を希望する場合は、事前に教務学生課まで問い合わせ、上記の出願期間内に以下の書類を提出すること。
  - ①科目等履修生入学願書、②履歴書、③履修希望科目表

## 履修科目一覧表

科目提供専攻・コース	科目名	学期	備考
声楽コース	音声生理学	前期	隔年開講（奇数年度開講）
音楽文化専攻	楽劇理論A, B	前・後	
	民族音楽学A, B	前・後	
	日本音楽史A, B	前・後	
	西洋音楽史講義A, B	前・後	
	アジア音楽構造学A, B	前・後	
	音響学	後期	
	声楽史	後期	隔年開講（偶数年度開講）
	西洋音楽史特講	後期	隔年開講（偶数年度開講）
	鍵盤音楽史	前期	
	管弦楽史	後期	隔年開講（奇数年度開講）
	琉球音楽論A, B	前・後	
	楽器論A, B	前・後	
	琉球芸能論A, B	前・後	
	琉球芸能史	後期	
	舞踊理論	前期	
	音楽美学概論	前期	隔年開講（偶数年度開講）
	舞台制作論A, B	前・後	
	公共文化政策論	前期	
	音楽組織論	後期	
	東洋音楽史	後期	
琉球芸能専攻	琉球語Ⅰ～Ⅱ	前・後	
	詞章研究Ⅰ～Ⅱ	前・後	
全学教育センター	音楽科教育法Ⅰ	後期	
	音楽科教育法Ⅱ	通年	
	音楽科教育法Ⅲ	前期	
	教育原理	後期	
	教職論	前・後	
	教育行政	前期	
	教育心理学	前期	
	特別支援教育	前・後	
	教育課程	前期	
	道德の理論及び指導法	前期	
	総合的な学習の時間の指導法	前期	
	特別活動	後期	
	教育方法(情報通信技術の活用含む)	後期	
	生徒・進路指導論	後期	
	学校カウンセリング	後期	
	教育実習（長期）	前期	
	教育実習（短期）	前期	
	教職実践演習（中・高）	後期	

科目提供専攻・コース	科目名	学期	備考
全学教育センター	生涯学習概論	前期	
	博物館概論	前期	
	博物館経営論	後期	
	博物館資料論	前期	
	博物館資料保存論	後期	
	博物館展示論	後期	
	博物館情報・メディア論	後期	
	博物館教育論	後期	
	博物館実習	通年	
	国語表現法	前・後	
	コンピュータ情報論	前・後	
	英語Ⅰ	前期	
	英語Ⅱ	後期	
	英語講読A	前期	
	英語講読B	後期	
	英文法	前期	
	英作文	後期	
	英語特演Ⅰ	前期	
	英語特演Ⅱ	後期	
	独語Ⅰ	前期	
	独語Ⅱ	後期	
	独語Ⅲ	前期	
	独語Ⅳ	後期	
	独語特演A	前期	
	独語特演B	後期	
	仏語Ⅰ	前期	
	仏語Ⅱ	後期	
	仏語Ⅲ	前期	
	仏語Ⅳ	後期	
	仏語特演A	前期	
	仏語特演B	後期	
	伊語Ⅰ	前期	
	伊語Ⅱ	後期	
	伊語Ⅲ	前期	
	伊語Ⅳ	後期	
	伊語特演A	前期	
	伊語特演B	後期	
	中国語Ⅰ	前期	
	中国語Ⅱ	後期	
	中国語Ⅲ	前期	
	中国語Ⅳ	後期	



科目提供専攻・コース	科目名	学期	備考
全学教育センター	中国語特演 A	前期	
	中国語特演 B	後期	
	日本語初級 I	前期	留学生のみ対象
	日本語初級 II	後期	〃
	日本語中級 I	前期	〃
	日本語中級 II	後期	〃
	日本語上級 I	前期	〃
	日本語上級 II	後期	〃
	日本語特演	後期	〃
	健康・運動理論	前・後	
	健康・運動実技 A	前・後	
	健康・運動実技 B	前・後	
	哲学 A	前期	
	哲学 B	後期	
	宗教学	後期	
	言語学 A	前期	
	言語学 B	後期	
	文学概論	後期	
	中国文学	後期	
	日本文学	後期	
	考古学	前期	
	歴史学 A	後期	
	歴史学 B	前期	
	日本国憲法	前・後	
	文化人類学	前期	
	心理学	前・後	
	数学	前期	
	化学	後期	
	生物多様性学	後期	
	基礎生物学	前期	
	生命科学	後期	
	自然科学概論	前・後	
	物理学	後期	
	美学	前期	
	現代芸術概論	前期	
	美術史	後期	
	民族音楽学概論	前期	
	音楽史	後期	
	ポピュラー音楽論	後期	
	演劇概論	後期	
	アートマネジメント概論	後期	

科目提供専攻・コース	科目名	学期	備考
全学教育センター	芸術とキャリアデザイン A	前期	
	芸術とキャリアデザイン B	後期	
	芸術と風土	前期	
	芸術と科学	後期	
	言語と文化	後期	
	芸術と心の臨床	前期	
	琉球文学	前期	
	琉球沖縄史A	前期	
	琉球沖縄史B	後期	
	民俗学	前期	
	自然環境論	前・後	
	沖縄学	前期	
	沖縄美術工芸史	後期	
	琉球芸能文化論	後期	
	琉球語基礎	前期	

※上記の聴講可能科目は変更する場合がある。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては受け入れない科目もある。

#### ○授業科目の種別について

本学の授業科目には科目名の末尾に番号等が付されているものがある。それらは科目開設の趣旨や性格、また分類上、以下のようなルールで大別されている。

##### ①ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ等）の付されたもの（段階履修科目）

段階的に履修しなければならない科目である。すなわち、Ⅰの単位を未修得のままⅡを受講したり、同一学年にⅠおよびⅡを並行履修することはできない。

##### ②A/B等の付されたもの

前期/後期ごとに授業内容の変わる科目である。科目の履修にあたっては、A,BまたはB,Aのようにどちらからでも履修登録することのできる科目である。

# 履修希望科目表

氏 名			
履修期間	年	月	日
	～	年	月
	日		日
履修希望 科目	科目番号	学期	科 目 名
勤 務 先	〒 TEL		
履修期間の更新	(自)	年	月
	日	～	(至)
	年	月	日
備 考			